

大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会への支援拡充について

1 目的

区では、大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放送を機に、『台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会（以下「協議会」という。）』とともに、まちの賑わい創出や区内経済の更なる活性化に取り組んできた。

「べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館」の運営をはじめとした協議会の事業も終盤に入っていることから、大河ドラマ館の運営状況等を踏まえた協議会の支援を行うとともに、これまでの成果を活かし江戸文化の息づく台東区のさらなる魅力発信を図る。

2 大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会への支援について

協議会では、大河ドラマ館やお土産館「たいとう江戸もの市」の運営をはじめ、イベントや情報発信などの各種取組を展開してきた。

これらの取組により、江戸文化の理解促進や区内回遊性の向上といった効果が見られるが、猛暑の影響等により大河ドラマ館の入館料収入等は伸び悩んでいる。

誘客促進の取組は継続予定であるが、大幅な増加を見込むことは難しく、協議会事業の実施にあたっては、支援を行う必要がある。

3 今後の取組について

協議会では、千束エリアに広がった回遊性を持続させるため、新たな立ち寄りスポットとして蔦屋重三郎と地域のつながりを掲載した説明板を設置することや、台東区民会館及び江戸新吉原耕書堂の装飾の一部を活用することなどを検討しており、今後関係者と協議を進めていく予定である。

4 補正予算額（案）

62,000千円

5 今後の予定

令和7年12月14日 大河ドラマ「べらぼう」放送終了

令和8年 1月12日 べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館、たいとう江戸もの市、
江戸新吉原耕書堂 閉館

令和8年1月以降 説明板制作・設置等実施